

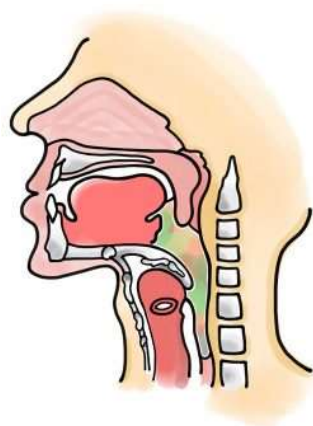
リハビリテーションに関する 様々な取り組み導入機器など

2023年9月時点

1. 嚥下（飲み込み）障害への検査、治療機器

① 嚥下造影検査（VF）の実施

バリウムを含む食品を飲み込む場面をレントゲンで透視して、嚥下障害の程度を確認します。



② 嚥下内視鏡検査（VE）の実施

鼻から3mm程度の内視鏡を挿入し、飲み込みの状態を確認します。



ペンタックス HP より

③ 嚥下用電気刺激装置の使用

のどに電極を貼り、直接飲み込みに関係する神経・筋肉へ電気刺激を行います。

当院は2種類の嚥下治療専用電気治療器「ジェントルスティム」「バイタルスティム」を症状に合わせて使い分けています。



2. ドライビングシミュレーター等による自動車運転評価

HONDA 社製 セーフティナビや専用のスクリーニング評価（SDSA）等を使用して、主に脳卒中後の自動車運転評価・トレーニングを行います。



※注意※ 当院のドライビングシミュレーターは入院患者様専用です。
自動車運転評価のみでの外来受診は受け付けていません。

3. 機能的電気刺激装置の使用

主に麻痺の改善目的で「OG技研・I V E S（アイビス）」を使用しています。
麻痺部分の弱い動きをセンサーが感知して、電気刺激で運動をアシストすることでリハビリ効果を高めます。



OG技研HPより

4.多彩な車いす・歩行器を用意

普通型車いす・チルトリクライニング車いす・各種歩行器は新しい年式の様々なタイプを導入。定期的に新型の導入を行っています。所有台数は60台以上。患者様の費用負担はありません。



5.歩行用装具

短時間で調整が可能なゲートイノベーションなど、リハビリ時に患者様の体にフィットしやすい装具を導入しています。



パシフィックサプライHPより

6.様々な活動やレクリエーション

園芸、調理、お茶会、などの活動やクリスマス会などの行事イベントを定期的に行っています。
※感染症の流行期は行いません。



クリスマス会や節分の様子

患者様の回復を最大限に高める為に、様々な機器や治療法を導入しています。

個別のリハビリだけでなく、季節感や交流を重視した活動も定期的を実施しています。

※集団での活動は、感染症流行期には行いません。また、使用する機器の消毒は徹底しています。